

【漢方薬】

ホノミシンキ® 粒

第2類医薬品

◆ ホノミシンキ粒しょうかんらん、きんきようりやくは傷寒論や金匱要略という書物に書かれている処方をもとにした漢方薬の顆粒剤です。

* ⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

次の人は服用しないこと

生後3ヵ月未満の乳児。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
- (4) 高齢者。
- (5) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (6) 次の症状のある人。
むくみ
- (7) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
ひ ぶ 皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
下痢
4. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

体力中等度以下で、疲れやすく、ときに手足のほてりなどがあるものの次の諸症：動悸、息切れ、脈のみだれ

用法・用量

次の量を食間^{注)}に、コップ半分以上のぬるま湯にて服用して下さい。

^{注)}「食間」とは食後2～3時間を指します。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1.5g(添付のサジ1杯)	3回
7歳以上15歳未満	成人の2/3の量(1.0 g)	
4歳以上 7歳未満	成人の1/2の量(0.75 g)	
2歳以上 4歳未満	成人の1/3の量(0.5 g)	
2歳未満	成人の1/4の量(0.375g)	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守すること。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (3) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させること。
- (4) 生後3ヵ月未満の乳児には服用させないこと。

成分・分量

本剤4.5g中

ケイヒ	1.5g	タイソウ	1.5g	} 炙甘草湯水製エキス……2.250g
ジオウ	3.0g	ニンジン	1.5g	
シャカンゾウ	1.5g	バクモンドウ	3.0g	
ショウキョウ	0.5g	マシニン	1.5g	
ゼラチン	1.0g			

添加物としてカルメロースカルシウム、結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウム、トウモロコシデンプン、メタケイ酸アルミン酸マグネシウムを含有する。

- ・本剤は淡褐色で、特異なおいを有し、味は初め甘く後わずかに苦い顆粒剤です。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、多少色調の異なることがありますが、効果に変わりはありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)

ホノミシンキ粒は生薬の特性を活かした漢方薬ですので、あなたの体質や病状を考慮して正しく服用することが大切です。

あなたの病気を早く治すため、お薬の服用に際しては、漢方薬のことをご理解いただいている医師、薬局・薬店の先生方とよくご相談下さい。

お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記をお願いします。

剤盛堂薬品株式会社 学術部

電話 073(472)3111(代表)

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

(土、日、祝日を除く)

製造販売元



剤盛堂薬品株式会社

〒640-8323 和歌山市太田二丁目8番31号